

山の日をつくろう! シンポジウムを開催!



平成26年5月27日、栃木県総合文化センターに世界最高齢エベレスト登頂を果たしたプロスキーヤーの三浦雄一郎氏や、栃木県にゆかりがあり山と関わりが深い各界の方にお集まり頂き、シンポジウムを開催しました。

このシンポジウムは、国会で「山の日」が法制化（平成26年5月23日）されて以後、全国初の山の日に関するイベントとなりました。

◆第1部 パネルディスカッション

ふるさととちぎの魅力・山の恵み～「山の日」を考えよう!～

〈コーディネーター〉磯野剛太氏（全国「山の日」協議会 事務局長

〈パネリスト〉萩原浩司氏（株山と溪谷社『ROCK&SNOW』編集長）

谷本丈夫氏（宇都宮大学 名誉教授）

安間佐千氏（プロフリークライマー）

本間裕子氏（那須平成の森インタープリター）

コーディネーターの磯野氏から、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という「山の日」の意義の説明に続き、萩原氏からは日光などに代表されるとちぎの山の魅力、谷本氏からは人々の生活と山の関わりからの里山保全の重要性、安間氏からはクライミングワールドカップ2連覇を達成した経験からスポーツの場としての山への挑戦、本間氏からは自然体験ガイドの仕事を通じ山の魅力や素晴らしさを自身で発見・実感していただきたい、とのお話を頂きました。



◆第2部 記念講演

「最高齢エベレスト登頂への道のり」

三浦雄一郎氏（プロスキーヤー、クラーク記念国際高等学校校

2013年に80歳で3度目のエベレスト登頂[世界最高年齢登頂記録]を果たした三浦雄一郎氏の講演では、「60歳を過ぎ健康に不安を抱えるようになり、何か目標がなくては、と思いついたのがエベレスト登頂」、「山には不思議な魅力があり人間をたくましくしてくれる、どんな山でも素晴らしさを味わうことが出来るので『山の日』制定を機会に山登りをしてみようと思う人が1人でも増えていただければ」とのお話を頂きました。

